



# 兵庫支部NEWS H23年 1月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tn078-792-6130)

ホームページ http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部



平成23年初日の出 神戸諏訪山公園ヴィーナズブリッジから 二宮氏撮影

## 年頭所感

### 同窓会史に新しい確かな歩みを!

北九州市立大学同窓会会長 田村允雄(42商)



(田村允雄同窓会会長)

北九州市立大学同窓会兵庫支部の会員の皆様には、年をまたいだ厳しい寒波の来襲・居座りにもかかわらず、まずは穏やかな卯年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ご承知のように同窓会は昨年創立60周年を刻みました。その大きな節目に同窓会の新会長に就任した私にとって、この年

明けはなぜか背筋を伸ばし、「凛(リン)」とした気分になりました。その気持ちが涌く背景には「同窓会の歴史に新しい確かな歩みを」という気負いがあったのかもしれない。

とはいえ、肩の力を抜くのも肝要です。そこで、新年の気概だけは固めようと、それを今年の干支(えと)に求めてみました。まず「卯」は春に堅い大地を破り地表に出た新芽が二つに分かれた形を表した象形文字で、「豊かさ」と「繁茂」の意味があります。これは同窓会の活動や事業にぜひ反映させたくります。

そして二つの大きな耳を想起させる「卯」の字形から充てられた動物の「兎(うさぎ)」には何を学ぶべきでしょうか。長い耳は「情報収集力」、すぐれた跳躍力は「実行」、やさしい眼は「情熱」でしょう。これらも同窓会のパワーアップには欠かせません。

「干支ちなみ」の新年抱負はさておき、旧冬に発行した北友会会報(103号)の会長の巻頭言でも述べていますが、同窓会の原点は支部活動です。その視点で、兵庫支部はお手本となる支部であることは、多言を要しません。未来志向の安徳信義・新支部長体制、多彩な親睦交流事業、兵庫支部NEWS(月刊)や支部HPによる濃密かつ精力的な広報発信など、今年も兵庫支部の活動を大いに見習いたいと、支部会員の皆様の活躍を期待しています。(了)



## 年頭のご挨拶

### 兵庫支部NEWSを

#### かけがえのない媒体とし継続しよう

兵庫支部支部長 安徳信義(45商)

新年明けましておめでとうございます。

昨年は2年前の世界同時不況を引きずり、社会的、経済的、政治的に大変厳しい1年でした。

兵庫支部NEWSをご愛読の皆様にはどのような年だったでしょうか。何はともあれ健康で元氣な新年を迎えられたことに感謝したいと思います。



(安徳信義兵庫支部長)

さてこの「兵庫支部NEWS」は名越編集長のもとこの平成23年1月号で108号を迎えました。記事の内容は三金会、各クラブの活動の様子、同窓会本部関西支部便り、編集長自身の手による2年余り続く渾身の連載記事「世界遺産熊野古道ウォーク」、スポーツ記事としては高森千賀子氏「インド便り」、思案亭作川柳、編集長ご指名の記者による記事等々、多岐に亘っています。他支部を見渡しても関東支部に次ぐ発行回数を誇っていると思います。毎月発行となると記事を集める困難もあり、時折発行日がずれる事もあります。読者の皆様の投稿を私からもお願い致します。

現在の購読者60数名の中には他支部の方、兵庫支部をサポートして頂いている外部の方がいらっしゃいますが、720余名を数える兵庫支部会員数からすると今ひとつその数が少ないように思います。そこで提案ですが年に一度の支部総会の案内の封書にその月の兵庫支部NEWSを無料で同封して同窓会活動を知ってもらい、ひいてはそのうち何人かが購読者になってもらえればいいと考えます。費用の面からも剰余金で十分賄える金額だと思います。マクドナルドの無料コーヒーによる同社の最高益更新、グリーやモバゲータウンなどの無料ゲーム等の例を引くまでもなく本来は有料の商品やサービスを無料で提供するビジネスが成功を収めています。ここは心理学でいう「返報性の原理」をいい意味で利用しようではありませんか。

同窓会にとって「兵庫支部NEWS」がかけがえのない媒体として、この先も継続していくよう会員の方々ともども願うと同時に、皆様方の存分のご活躍を祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

## A Happy New Year!



全員元氣で新年を迎える事ができました。

今年もご支援をよろしくお願いたします。

メダカ小学校の生徒と教師より

年頭所感

会員みんなで盛り上げよう兵庫支部を!!



副支部長兼幹事長 山田紘昭(44商) 皆様、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくご厚誼の程お願い申し上げます。

昨年は、大いに期待されて成立した民主党政権下で政治の混迷や経済の停滞が続きました。

明けてからも、重苦しい、どんよ(山田紘昭副支部長)りとした新年のような気がします。しかし、今年は強い政治力を持ったリーダーが大局を見据えて日本を引っ張り、過去の苦難を何度も乗り越えた我々、日本人が努力と知恵で展望の持てる年にしなければならないのではないのでしょうか。

さて兵庫支部では、昨年7月に安徳新体制が出来て7月の支部総会を新旧役員で力を合わせて盛会裏に終える事が出来ました。三金ゴルフや「歩こう会」等も計画通り実施されています。忘年会は役員の役割分担が機能しました。又関西支部との交流も昨年からスムーズに行われるようになってきています。先ずは順調に活動を続けているのではないかと思います。

しかし、各種イベントへの参加や同好会活動への参加者が物足りなかったり、組織活性化への取り組みが不十分であること等、まだまだ沢山の課題を抱えていると思います。

今年は、昨年示された安徳支部長の支部運営方針(H22年7月18日付)を再度役員が認識し実行しなければなりません。又会員の皆様も役員への呼び掛けに応じて常に兵庫支部を意識していただき、身近な同窓生に声をかけていただきたいと思います。

一人一人が兵庫支部の事を思い、皆で盛り上げる事が大切だと思います。会員の皆様方のご協力をお願いします。

閉塞状況化の「悪い場」、一時の安らぎの場としての兵庫支部に集い、母校の懐旧談に、身近な話題に花を咲かせながら楽しく交流し、お酒を飲むことが出来たら素晴らしいと思います。

次期学長に近藤倫明副学長を選考

矢田俊文学長が平成23年3月31日で任期満了となる為、学長選考会議(6人)で審議の結果、近藤倫明副学長・文学部教授が次期学長に選考され、昨年11月10日に公表された。



近藤氏は、九州大学大学院文学研究科博士後期課程修了(文学博士)し、九州大学文部教官助手の後、昭和62年4月から北九大文学部講師・助教授・教授を経て平成18年4月から副学長。58歳。(詳細は大学HP参照) 近藤副学長コメント：平成23年度より新たに始まる6年間の第2期中期計画を乗り多岐にわたることが私の使命だと考えています。平成23年4月から4年間、理事長とともに大学の運営にあたることに対して身の引き締まる思いです。これまでの本学の伝統を継承し、とりわけ法人化後の本学の歩みに新たな頁を加え、北九州市民の誇れる市立大学として、選ばれる大学、そして地域における存在感のある大学を目指し教職員とともに職務に励む所存です。(平成22年11月10日 近藤倫明)

年頭雑感

今年も新天地を求め、無理のない計画で!!



歩こう会会長 二宮慶治郎(38米英) 兵庫支部の皆様明けましておめでとうございます。今年も歩こう会をよろしくご支援お願いします。

昨年の歩こう会は参加者の情熱により地元に加え、京都、奈良と行動範囲も広がり、新天地を求めて良く近畿圏を動き回りました。

(二宮慶治郎会長) 近鉄が一昨年三宮から奈良まで乗換なしとアクセスが便利になったことも、心理的に大きく影響しています。

歩こう会は天候に左右されるが、4月の観桜会と5月のパーベキュー大会では、雨模様にもかかわらず中止かと尋ねる人は無く、その意気込みに感嘆させられました。幸いに事故もなく参加者全員に楽しんでいただいています。

昨今の歩くブームで山ガールズが闊歩しており、パワースポットとして紹介されると山ガールズで賑わっています。

(東屋に雨宿りのパーベキュー) 12月の例会で「伏見稲荷から清水山へ」のコースでは京都市民マラソンに出くわし、狭い山道で道を譲り待機する羽目になり、コース変更を余儀なくされ、下調べが不十分だったと反省させられた。

これからも出来る限り新鮮さを感じる新天地を求めて、無理のない企画を立てたいと思います。今後も会員、ご家族・友人の気軽なご参加を切望いたします。

昨年の実績：1月石切神社・宝山寺・大極殿(参加者4名)、2月金剛山(12名)、3月須磨天満宮・離宮公園(7名)、4月観桜会@上郡(22名)、5月大阪・渡船巡り(7名)、6月パーベキュー大会・鳥原貯水池(23名)、7月池田市五月山公園(8名)、8月姫路市小富士山(麻生山)(12名)、9月名張市赤目四十八滝(21名)、10月奈良県三輪山(11名)、11月河内飯盛山(8名)、12月伏見稲荷から清水山(14名)

以上



(赤目四十八滝荷担滝)



(東屋に雨宿りのパーベキュー)



(清水寺仁王門)

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内 本館牡丹園

神戸市中央区元町通1丁目11-20 電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

JR元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時~ 会費:3,500円(男性) 2,000円(女性)

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時~ 参加費:無料、ドリンク/500円



### 大岡一成7段が優勝

「囲碁の会」第16回リーグ戦終了

平成22年7月例会から始まった第16回リーグ戦は、6ヶ月間の接線の末8勝2敗の大岡一成7段が優勝し、優勝賞金を受領した。2位は6勝3敗の平間正昭3段と上位者が順当な成績でリーグ戦を終了した。



(優勝賞金を受け取る大岡7段(右)) 1月例会から第17回リーグ戦が開始される。河野・赤松両氏の参加が期待されている。また少しでも囲碁に興味をお持ちの方は是非一度参加してみてください。中華料理店の3階の一室を借りきって、他人を交えない自由な雰囲気、和気藹々と楽しんでいます。お待ちしております。

#### 第16回リーグ戦成績表 平成22年7月～12月

	大岡	平間	山本	名越	前原	安徳		
大岡7段		X	○	○	○	○	8勝2敗	優勝
平間3段	○		X	○	○	○	6勝3敗	2位
山本2段	X	○		○	X	○	5勝5敗	
名越2級	X	X	X		○	○	2勝7敗	
前原3級	○	X	○	X			3勝3敗	
安徳4級	X	X	X	X			2勝6敗	

2回総当たり戦。ジゴは白勝ち。互先は6日半コミ出し  
置碁は9子局まで、それ以上は白から1子6目の逆コミを出す

### 兵庫支部月例会12月「三金会」

12月17日(金)午後6時から、神戸元町「本館牡丹園」にて三金会が開催された。久々に出席の三宅氏、大岡7段も加え総計9人が円卓を囲み、忘年会の反省などで時を過ごし、午後8時前に散会した。



左から二宮、安徳、山本、大村、平間、名越、三宅、高尾(敬称略)

### 投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています  
旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など  
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

### 広告大歓迎

掲載料:1/10頁、1回500円  
お申し込みは6回分3,000円で御願います

### 熊野街道を歩く - 第6回 -

#### 佐野王子跡→櫻井王子跡→厩戸王子跡

1月7日青春18切符を利用してJR熊取駅へ、そこから外環状線国道170号線に出て約1キロ半西進して、熊野街道に戻り、南へと南へと進んでゆく。

佐野大橋を渡り、高い鉄塔の下を左に入ると、熊野街道の標識に佐野王子跡への矢印があり、それに従って少し横道に入ると佐野王子跡の石碑が(左)ある。熊野九十九王子の17番目で、明治41年に春日神社に合祀され、その後昭和20年に石碑が建てられたとのこと。熊野街道に戻り、どんどん南下し、第二次大戦中に陸軍佐野飛行場建設の為に移転させられた蟻通神社跡地に立ち寄る。(右)更に南下し移転後の蟻通神社に参拝する。

大国主命を祭神とし、弥生中期紀元93年の創祀で、稲作が始まり五穀豊穰長寿の神として祭られた由。

更に南下(正確には南西)してゆくと塙田右衛門之墓(右)がある。

大坂夏の陣で豊臣方として参戦し櫻井合戦で討死にした武将である。

すぐ近くの自動車販売・整備会社の裏手の民家の庭に櫻井王子の石碑があると資料にあり、恐る恐る庭に入ってゆき庭の一番奥に樹木に隠された石碑(左)を発見した。18番目の王子であるが近くの日枝神社に合祀されている由。

やはり大坂夏の陣で討死にした豊臣方の部将、淡輪六郎兵衛の宝篋印塔がある。崩壊の危機の為平成12年再築したと。左奥に古いものがある。(右)

そこから500mほど進むと櫻井古戦場跡があり石碑が建てられている。(左)冬の陣のあと、

1615年4月に徳川方の和歌山城主浅野長晟と豊臣方主将大野主馬との激戦地で、大坂方が敗れ、まもなく豊臣が滅亡したのである。次に訪れたのは、厩戸王子跡である。(右)19番目だ。近くの一岡神社に合祀されている由。

やがて参勤交代時、紀州の殿様が宿泊したという信達宿(シタシヤ)本陣跡の前にやってきた。現在も住居として使われているようで、正面には角谷の表札があり、しめ縄も飾られていた。非公開で、特別な時のみ公開しているらしい。

途中熊野街道を離れて長慶寺に立ち寄った。近年はアジサイ寺とも呼ばれているとか。信達牧野交差点で熊野街道と別れ、JR和泉砂川駅に向い帰路に就く。



# 歩こう会12月例会 伏見稲荷大社～清水寺 マラソン大会と出会いコース変更



(JR稲荷駅前の鳥居)

河原町駅から京阪・伏見稲荷駅へ、集合場所へ徒歩で3分。その方が格段に運賃が安いのだ。本日の参加者は同窓生が藤田、二宮、伊藤、名越、元田、浜田の6人、ゲスト参加者は野村、山浦夫妻、角田、立川、吉原、佐野、吉田の8人。

駅前の鳥居をくぐり工事中の楼門を通り抜け、先ず本殿で参拝。本殿には10数本の鈴が吊り下げられており、これだと大勢の初詣客をスムーズに捌けるだろうと思う。

初詣客は関西随一(250万人)と言われる伏見稲荷大社から始まる「京都一周トレイル東山コース」の前半部分を歩くのが、今回のコースである。

12月12日(日)JR稲荷駅に午前10時集合。筆者は阪急



(伏見稲荷大社本殿)

お山へ向かう前に参加者の紹介、そして藤田顧問が先導役、二宮会長がしんがり役と打ち合わせして出発する。千本鳥居と言われる鳥居のトンネルを通り抜け奥之院を参拝。そこからも鳥居のトンネルの緩やかな坂道を上り、三つ辻から四つ辻へ鳥居のトンネルの中を進む。

四つ辻には茶店や休憩所があり展望が開け市街地が眺望出来る。



(藤田顧問を先頭に鳥居の中を)



(4つ辻から市街地を望む)

住宅街を避けるように入口で民家の横の急峻な石段を下りて住宅街の裏手といった感じの場所へ。小川沿いの道を行くと、左手に五社之瀧神社がある。

眺望を楽しみ、暫く休息し四つ辻で鳥居のトンネルをやット抜けて、木立に囲まれた舗装された緩やかな下り坂をテンポ良く下って行くと、住宅街にやってきた。



(木立の中を下る)

そのまま進み右手の階段を少し上がると御陵の前に出た。親王様・内親王様の御陵とあるがいつの時代の人かは不明。反対側に目をやるとそこにも御陵が。宮家の墓地だと。そこから程なく泉湧寺の前に出て来た。皇室の菩提所として歴代の天皇・皇后のご葬儀が執り行われたということだ。

だからこの辺りには御陵があちこちにあるようだ。山門から望見しただけで次の目的地へと向かう。



(泉湧寺)

泉湧寺の参道を少し下り、今熊野神社方面へ右折し泉湧寺霊園に向う道に行く。と道端で給水の準備をされている人達に出会った。聞けば本日「東山三十六峰マウンテンマラソン」が行われており、ここは最後の給水地点とのこと。宝が池公園から大文字山・清水山など東山三十六峰と言われる山々を走り抜け、伏見稲荷社までの30kmを走るのだそうだ。今年で第16回を迎え昨年の成績は男子2:14:27、女子は2:50:22丁度我々はこのマラソンコースを逆行していることになり、どこかで出会うことになる。

コースの所々に「京都一周トレイル」の標識が立てられトップ面には番号と略図が表示されて、ウォーカーを案内してくれている。(右写真参照)

広い舗装道路から狭い山道に入ると、藤田顧問がマラソン選手と出会うだろうから道を譲るようにと注意があった。程なく先頭に行く藤田顧問から大声で選手がやってきたと知らせて来た。

道が狭いので立ち止まって選手をやり過ごす。10番位までは距離が離れており、一人ずつやり過ごし進む事もできたが、その後はダンゴ状態でやって来られると数分間も待たされることがしばしばで前に進めない。やっとの思いで山道を脱出し国道に出たが、歩道を走って来る選手達をよけながらの歩行だ。

国道を横切り石段を上がり暫く進むと清水山への上り口で選手を誘導している係員がいる。ここからまた暫く狭い山道が続くとのことで、まだまだ数百人の選手達と出会うととてもハイキングにならないだろうと、このまま広い道路を直進すれば清水寺だからと、コース変更することにした。

すでに午後1時を回っており、清水の舞台を見上げる参道そばの空き地で弁当を広げる。まだ秋の紅葉の名残がある清水寺を後にして、三年坂・二年坂と下り、八坂の塔(五重塔)を横目に見ながらバス通りへと出て北上、祇園の交差点で信号待ちしている間、すぐそばの八坂神社へ行くことに衆議一決。参拝後本日最初で最後の全員の集合記念写真を撮影し、現地解散となり、四条通を西へ、話題の南座のマネキを眺め、阪急河原町駅へ。



(清水の舞台と紅葉)



(集合記念写真)